



エルモス

第30号 (2023.4~2024.3)

ermos



倉敷商工会議所女性会

会長あいさつ



この度の令和6年能登半島地震により、被災された方々に女性会を代表して心よりお見舞い申し上げます。

さて、皆様方からの心温まるご推挙をいただきまして、会長という大役を拝命し1期2年が過ぎました。倉敷商工会議所を始め、会員の皆様には日頃から会の活動に多大なご協力とご支援を頂き、心より厚く御礼申し上げます。

この1年を振り返りますと、毎年恒例ではございますが、屏風祭でのお寿司販売、ふれあいバザール等のイベントでは地域の皆様と

積極的に交流し、より親睦が深まったと感じております。

また、女性会では定期的に親睦・視察旅行を開催しており、会員相互の連携を図りつつ、女性経営者としての研鑽に励んでおります。

しかしながら、再三申し上げておりますように、女性会は会員減少という問題に直面しており深刻な状況が続いています。

会員増強を大きな柱とし、今後は時代に柔軟に対応しながら、「龍が天に登るように」積極的な活動を続けて参りたいと思います。

皆様方におかれましては、変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

倉敷商工会議所 女性会会長 竹内 照

<商工会議所女性会 活動指針>

わたしたち、商工会議所女性会は、リーダーとして、凛と信をもって連帯し、平和で心豊かな社会を築きましょう。

- 一、リーダーとは、高い志をもって、自己の変革・向上を目指すことです。
- 二、凛とは、情熱・勇気をもって行動し、社業の発展に努め、地域社会に貢献することです。
- 三、信とは、礼節・勤勉を尊び、美しい自然や良き伝統・文化を愛し、次の世代に継承することです。
- 四、連帯とは、女性経営者の友情と信頼の輪を内外に広げることです。

春のお花見寿し販売



穏やかな春の日差しが降り注ぎ、アイビススクエア内の桜も満開の中、今回のイベントのために特別に作られた「お花見寿し」をはじめ、季節限定の和洋菓子を販売し、多くの方々にお楽しみいただきました。

購入された方からは、「具材がたくさん入っていて、とても華やかで美味しそう」「女性会の皆さんに会えると、元気がもらえる」といった感想をいただき、交流の場としても大いに活用されました。



◇事業委員会◇
倉敷アイビススクエア R5.4.1

会員親睦旅行

◇事業委員会◇
京都方面 R5.4.26

「令和の大改修」で7年ぶりに新しく生まれ変わった祇園甲部歌舞練場での柿(こけら)落とし公演「都をどり」を鑑賞し、その美しさと華やかさに、時間を忘れて魅了されました。

お昼は、近代日本画の先駆者・竹内栖鳳の旧私邸を改装した「ザ・ソウドウ東山」で美しい庭園に囲まれながらイタリアンの食事を楽しみました。その後は高台寺近くを自由に散策し、参加した21名の笑いの絶えない充実した旅行となりました。



第32回通常総会

◇総務委員会◇
倉敷商工会館 R5.5.22

会員58名(委任状25名含む)が出席し、令和4年度事業報告並びに同収支決算、令和5年度事業計画並びに同収支予算(案)を原案通り承認決定。インボイス制度への対応として、女性会の会計を倉敷商工会議所の会計に統合するため、令和6年1月下旬に臨時総会を開催することも承認されました。

引き続き、イオンモール倉敷の服藤伸二ゼネラルマネージャーによる講演があり、同社による地域連携行事や防災対策、復旧支援についてご紹介いただきました。



県女連令和5年度通常総会

岡山商工会議所 R5.6.23

県内12女性会より約60名が出席し、今年度は単会同士の交流を活発化させる方針を明確にしました。この後議事に入り、令和4年度事業報告並びに同収支決算を承認。県内6女性会の役員改選に合わせ、19名の役員が交代しました。続いて、令和5年度事業計画並びに同収支予算(案)を原案通り承認。議事終了後は、日本銀行岡山支店の廣瀬敬久支店長より「岡山および全国の経済の現状と展望」と題した記念講演がありました。



第36回中女連児島大会

せとうち児島ホテル R5.7.5

中国地方39女性会より207名が参加しました。西村恵美子中女連会長による挨拶に続き、伊原木隆太岡山県知事、伊東香織倉敷市長より祝辞をいただきました。

式典終了後、大島花子氏による音楽を通じた社会福祉活動についての記念講演がありました。

大会に先立ち開催された中女連令和5年度総会では、令和4年度事業報告並びに同収支決算、令和5年度事業計画並びに同収支予算(案)、令和6年度総会・第37回大会開催地について協議し、全て承認されました。令和6年度の総会及び大会は島根県松江市で開催されます。



天満屋ふれ愛バザール

◇総務委員会◇
天満屋倉敷店 R5.9.1

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を機に、令和2年以降自粛していた遊休品バザーを再開。会員事業所より持ち寄った約550点の遊休品を販売し、来場者からは「お得な商品が多くて助かる。今後も継続してほしい」との言葉が寄せられました。

会員からは4年ぶりに無事に開催できたことへの安堵の声が聞かれました。



第55回全女連新潟全国大会

朱雀メッセ新潟コンベンションセンター R5.10.7~8

全国309女性会より約2,300人、当会からは木村かや子副会長をはじめ6人が参加しました。

開会にあたり畠山笑美子全女連会長は、岸田内閣の「女性版骨太の方針」を引き合いに出し、女性の活躍が日本経済再生の重要課題だとして、商工会議所女性会による一層の団結を呼びかけました。

懇親会やエキスカッションでは他の女性会との交流を深め、互いの活動や課題について意見交換しました。次回の全国大会は滋賀県大津市で開催予定です。



屏風祭協賛バザー

◇事業委員会◇
大原美術館児島虎次郎記念館横 R5.10.14~15

本町・東町と倉敷美観地区で開催された倉敷屏風祭に協賛し、会員や観光客に「秋まつり寿し」や和洋菓子を販売しました。

延べ26人の会員が商品の仕分けや販売、配達に協力しました。

訪れた観光客からは「岡山名物のまつり寿しが食べたかったから購入できてよかった」「具材が豊富なのに値段もお手ごろで嬉しい」と好評でした。

大勢の人が参加した屏風祭は、会員同士や商店街の方とも交流を深める貴重な機会となりました。



大原副会頭との昼食懇談会

◇総務委員会◇

料理旅館鶴形 R5.11.6

竹内会長をはじめ会員10人が参加し、女性会の活動実績や今後の展望について意見交換しました。

発端は大原副会頭からの「女性会担当の副会頭として、皆様の置かれている現状を正しく認識したい」という言葉でした。当日は担当副会長より女性会の組織構成や各種事業、寄付活動などを説明。同時に会員の高齢化、会員数の減少という課題に直面していることを伝えました。

大原副会頭は「担当としてできる限りのことはしたい」と述べられ、特別委員会を立ち上げた他の女性会の事例検証や、効果的な声掛けなどを協議しました。



親睦視察旅行

◇総務委員会・事業委員会◇

小豆島方面 R5.11.27

今年度2回目となる旅行は総務委員会と事業委員会の合同企画で行われ、親睦のみならず視察研修を兼ねて開催し、15人が参加しました。

二十四の瞳映画村では、撮影当時の面影を残す木造教室や、日本映画全盛とも言われる1950年代の映画資料を鑑賞し、古き良き時代に思いを馳せました。マルキン醤油記念館では醤油の歴史と製法を学び、小豆島オリーブ園では日本の産業用オリーブ発祥当時から残る原木の森を散策。寒霞溪ロープウェイでは絶景の空中散歩を体感するなど楽しい思い出ができました。



令和6年新年祝賀会

◇事業委員会◇

倉敷国際ホテル R6.1.11

ご来賓に正副会頭専務理事を迎え、会員33名と新年のあいさつを交わしました。

開会にあたり竹内会長は「辰には、『動いて伸びる』『整う』という意味がある。女性会も「龍が天に登るように」時代の変化に柔軟に対応しながら、特に会員増強に重きを置いて活動をしていきたい」と抱負を述べました。

続いて、大原副会頭の乾杯の音頭で祝宴が開かれ、親睦を深めながら食事を楽しみました。

途中、今年の干支会員を紹介し、5人に記念品を贈りました。

アトラクションでは、オカリナデュオ「Le Lian (ル・リアン)」をお招きし、心地よい時間を過ごしました。



小学生 「環境・ゴミ・省エネルギー問題」 絵画コンクール作品展

◇総務委員会◇

倉敷市民会館 R6.1.27(土)・28(日)

倉敷市内29小学校に夏休みの課題として募集し、昨年を超える12校から283点の応募がありました。地球温暖化、海洋汚染などいずれも子どもの目から見た幅広い環境問題に焦点を当てたものが描かれました。

応募作品の中から選考会を経て、30点の優秀作品を選出し、28日(日)に4年ぶりの表彰式を行いました。

受賞者には記念品を贈呈し、応募者全員に保冷温バッグと大原美術館「みんなのマイミュージアム」のクリップを参加賞として配布しました。



寄付

◇令和6年1月『倉敷市よい子いっぱい基金』 30,000円

◇令和6年2月『能登半島地震義援金』 50,000円

編集後記

会員の皆様にはご多忙にもかかわらず、発行に際しましてご尽力を頂き、無事編集を終えることが出来ました。

心から感謝いたします。

総務委員会

